

## 青学ビジネスフォーラム 2006（第3回）開催のご案内

青山学院大学では、「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の一翼を担う形で「青学ビジネスフォーラム」を2004年に立ち上げ、地域の企業の方々との交流を促進し、産学連携ビジネスに結びつける努力をしております。

以下に2006年度第3回の講演会をご案内します。今回は「バイオ・生体計測」について青山学院大学、理化学研究所の先生にご講演をお願いしました。ご希望の方は連絡先までお知らせいただきますようお願いいたします。

### ★青学ビジネスフォーラム（第3回）

主 催： 青山学院大学総合研究所

協 力： 首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会、相模原市

開催日： 平成19年1月20日（土曜日） 14時から16時

場 所： 青山学院大学相模原キャンパス K棟2階(209号室)ミーティングルーム

会場案内図は青山学院大学ホームページをご覧ください。

お車でのご来場はお断りします。

定 員： 参加人数に制限はございませんが、事前に参加お申し込みいただけますと準備の都合上助かります。なお当日でも受け付けますのでお気軽にお越しください。

講演内容：

☆「ゲノムとDNAチップ」

講師：降旗 千恵（青山学院大学理工学部教授）

「ゲノム」とは「細胞一つに含まれる全DNA」のことです。この10年間にヒトゲノムを含めて数十の生物種のゲノムのDNA塩基配列が解読されました。現在はそれらのDNAデータベースを活用する「ポストゲノム」時代と呼ばれています。例えば一人のヒトでは脳と肺でゲノムは同じですが、細胞の形も機能も違います。これはヒトゲノムには約22000の遺伝子が含まれていますが、各々の細胞で「発現」している遺伝子が違うからです。この「遺伝子の発現」を研究する最新の技術の一つが「DNAチップ」です。降旗は「がん」関連へのこの技術の適用を研究しています。その一端を紹介させていただきます。

☆「ラマン分光とバイオ計測：光による分子診断」

講師：田代 英夫（独立行政法人理化学研究所中央研究所 主任研究員）

ポストゲノム時代を迎えて高精度、高感度の新しい計測手法やハイスループットな計測手法等の計測手法がますます求められています。私たちはレーザーによる光学技術と分光

技術を基盤として、生体組織の分子構成を直接的に計測する分子診断法の開発を行っています。皮膚に光プローブを当てる、血管内に光プローブを挿入することにより、分子状態の変化から病変等の的確な診断を目指しています。最近の研究内容と成果について分かりやすく説明します。

★ 青学ビジネスフォーラム講演内容は、南西フォーラムのサイトからリンクをたどりユーザ登録をすることで、インターネット画像でご覧になれます。

南西フォーラムのサイト <http://nansei.ssz.or.jp>

★ 参加申込み方法 （当日まで受け付けます）

電子メールないし FAX で以下の内容を事務局宛にお知らせください。

・氏名      ・企業名      ・住所      ・電話/ファックス番号      ・E-mail

★ 参加申込み先 （事務局）

宛先：青学ビジネスフォーラム事務局 水澤純一

住所：〒252-5258 相模原市中央区淵野辺 5-10-1 青山学院大学理工学部 O 棟 501 号室

TEL： 042-759-6318

FAX： 042-759-6495

E-mail： [mizu@it.aoyama.ac.jp](mailto:mizu@it.aoyama.ac.jp)